

神出鬼没……………今日もROBA調査隊が行く！



活動報告

- 3月19日 路面電車サミット実行委員会
- 19日 福井・坂井地区公共交通活性化委員会
- 20日 都市再生モデル調査フォローアップヒアリング
- 23日 臨時理事会
- 24日 福井市都市交通戦略協議会
- 26日 福井・坂井地区公共交通活性化委員会
- 27日 「ふくいりんりんマップ」福井市に納品
- 4月13日 福武線活性化沿線調査
- 16日 路面電車サミット実行委員会
- 18日 ROBA 例会

4ページに関連記事

撮影 / 林博

今後の予定

- 4月下旬 臨時理事会
- 5月2日(金) 福井市地域交通活性化協議会
- 5月16日(金) ROBA 例会
- 中旬 路面電車サミット実行委員会
- 25日(日) 総会・記念講演会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

満員電車がなくなる日 阿部等
角川SSC新書 760円+税
ISBN978-4-8275-5029-0 C0295

はっきり言って、お値段以上におもしろい本です。満員電車をなくすには、信号システムの改良等による高頻度運行、3線化、2階建て車両(ホームも2階建て)など様々な技術開発の余地がある。しかし、質を改善しても高料金を取れない料金政策が満員電車の解消の障害となっている。というのが要約です。

鉄道には、独占経営という自由な競争に任せれば市場の失敗を招く要素があるものの、規制をする政府の失敗もまたある。これは経済学の教科書によくある話。独占企業は、自由に任せておくと、料金のつり上げと商品の過小供給を行う。1人が1単位の物を買えないと大いに困るが、満員電車は求める人に目的地まで運ぶという最低のサービスを「量」としては供給している。質まで含めた独占政策は古典の教科書にはない。

この本にもう少し足りないことがあるとすれば、「鉄道会社はその気にさせる政策論」だろうか。私事になるが、私は比較的輸送力に余裕のある大井町線→東横線で通勤している。筆者の主張を一部実現する形で運賃を上乗せした「鉄道整備基金」を用いた工事が完成し、3月28日から城南地区私鉄で最も混雑の激しい田園都市線のバイパスとなる予定である。混雑激化に戦々恐々、特に帰宅ラッシュ時の増発をお願いしたい。本当に座って居眠りして通勤できるなら料金は倍払ってもいい。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

三国のまち探検記 「えちぜん鉄道 三国港駅周辺編」



今年の2月、仕事の関係で三国に行く機会が数多くあり、現場調査を兼ねて探訪してきました。

三国港周辺は私の自宅から車で10分程度、子どもの頃の行きつけの医院は、三国の歴史的なまちなみの中にあって、子どもの頃から三国でたくさん遊びました。酒まんじゅうも、本当によく食べました！（三国は酒まんじゅうが銘菓）



越前ガニ発見！

駅から三国サンセットビーチに行くバス停に、越前ガニの看板がありました。越前ガニのタグは今ではセイコにも付くようになりましたね。この看板がここにあるって事は前々から知っていましたが、まじまじと見たのは初めてでした。カニ好きのみなさん、ズワイ食べましたか？東京で3万円のカニ検定があったそうで、試験後に食べていたカニ、本当に美味しそうでしたね。私は今年もズワイガニを食べる機会を逃し、そのかわりセイコガニをたくさん食べました。おいしかったーっ！来年こそズワイを食べたい...



本日も荒れています日本海！



冬の日本海は連日のように荒れているイメージがありますが、穏やかな日も勿論あります。この左側の写真は三国突堤(エッセル堤)ですが、この日は風が強く海に吸い込まれそうな感じで、写真を撮るのも怖いなーと思いながら激写したものです。

三国突堤...三角港(熊本県)、野蒜(のびる)港(宮城県)と並び「明治三大築港」といわれおり、突堤の指定は全国で初めてです。三国港突堤は、九頭竜川の河口右岸先端部より西方に突き出た港湾施設であり、明治11年(1878年)に着工、18年(1885年)に完成しました。堤長511m、幅約9mの石造構造物で、その平面形状により船舶の入港を妨げる漂砂と波浪を防御するとともに、川の流速を維持しつつ上流からの土砂を海に押し流す「防波堤」と「導流堤」の機能を備えています。計画から施工に至る建設の全段階で、内務省雇いのエッセル、デ・レイケらオランダ人技師が中心的な役割を果たしました。(解説:敦賀港湾事務所HPより)



響を受けにくく安定した構造になっています。(解説:敦賀港湾事務所HPより)

この写真はゆあぼーと(三国サットビ)にある市営の温浴施設)前にある、突堤の粗朶沈床という構造を分かりやすく紹介したものです。これを見てから突堤に行かないと、イメージが湧かないかも知れません。

粗朶沈床(そだちんしょう)...と粗朶(クヌギやナラなどの苔枝を束ねたもの)をかご状に組んで、その中に石を入れ沈めたものを基礎として、その上に碎石を投げ、直径1.5mの巨石を被覆石として2~3割の法面勾配で積んだものです。この工法はオランダ土木技術を用いており、直接石を沈める方法より、波の影響

【旅のあとがき】

この駅はおもて側？が住宅側に面して接しているので、海側からアプローチするには、少しだけ分りにくいかも知れません。でも、ホームへ続く道の横手土手に咲いている草花を眺めながら季節を感じたり、海の風と匂いを感じることができる素敵な駅です。

(旅人: はたみゆき)

■平成 20 年 3 月 26 日（木）に越前市において平成 19 年度最後の地域公共交通会議が開催されました。2 年間続いた地域公共交通会議ですが、市民バスの購入から運行等、福武線存続に係る行事の主催等、活動については一応の成果が見られたように思います。ROBA 的にみれば、「のりのりマップ」の越前市版とまでは行きませんが、ROBA のバスマップのノウハウ、アイデアが盛り込まれたと自負しています。

■当日の次第

市民バスの利用状況の報告、市民バスの運営会社を公募結果、路線バスの利用実態及び高校生利用実績の報告、市独自の公共交通活性化チームの提言書、福武線利用促進についての報告がなされた。

■報告事項

市内 8 路線（武生エリア）の今年度の利用状況は昨年末で約 39,800 人となり、昨年 1 年間の 41,500 人を追い抜くことは間違いない状況である。郊外線（今立エリア）は逆に 22,600 人で昨年度実績 37,000 人を大きく下回っているが、全体でみると、武生エリアが大幅な利用増であることから、約 20%を上回る実績が予想されるとの報告がなされた。また、市民バスの運営を公募・審査した結果、武生エリア（8 路線）は福井鉄道㈱、今立エリア（3 路線）はヤマトタクシー・武生タクシー共同企業体がそれぞれ受注した。委託費予算は 4900 万円となっている。

路線バス・高校生の利用促進は、高校生の遠距離バス通学の利便性を高めるために運行時間の一部改良・増便を施している。また高校直行便を増発するなどの対応も行い、H20 .9 月までは経費は県の補助があること、路線バスについては王子保ルートで JR の運行時間に併せて変更するとの報告がなされた。

運転免許の自主返納支援事業は、H18 年から行っており約 50 名の方が返納されていることの報告があった。また、交通事故の第一当事者となっているのが 31 名と昨年の 25 名を大幅に上回っているとの報告がなされた。

公共交通の重要な結節となる武生駅前広場でバス待合のためのバスシェルターを設置、雨の日でも傘をささないで待てるなど利用者の利便性向上の一助に寄与するとの報告がなされた。

越前市地域交通会議の審議の他、庁内の若手職員で構成された公共交通チームの政策提言書の概要が報告された。

福井鉄道の事業運営については、線路部分の購入、設備更新費、維持修繕費を補助し、更に名古屋鉄道の増資、経営から撤退し地元資本で運営していく方向でいくことが確認された。

福武線利用促進では、昨年 10 月と 2 月に市民フォーラムを開催、また署名活動については区長会連合会が全 17 地区で取組み、約 50,000 名の署名をしたことが報告された。また、2 月下旬に福武線利用促進・市民会議の立上げをするための協議を開催したことの報告がなされた。



新しくできたバスシェルター



撮影 / 鳥居 (ROBA 調査隊)

「ふくいりんりんマップ」完成の件

このたび、「ふくいりんりんマップ」がようやく完成いたしました。このマップは福井市市街地をエリアとする自転車マップです。昨今、環境や健康に相応しい移動手段として自転車がブームになっていますが、一方では歩行者との事故の多発、放置自転車、運転マナーの欠如といった問題がクローズアップされています。

当会では、自転車の利用環境向上に役に立つようにと、安心して走行が可能なルートの調査、自転車走行をできれば控えた方がよいルートなどを検証し、さらに自転車に関するほかの情報も盛り込みながら、自転車マップ作成のプランを立てました。

4月には市内3高校（藤島、高志、羽水）の自転車通学生約1000名を対象に自転車通学ルートのアンケート（回収662名）を実施しました。5月に素案作成、市民にも参加を呼びかけた第1回目のワークショップ（6月3日）には13名の参加を得て、市内106地区に分担して現場調査をスタートしました。調査の結果を踏まえて、9月9日には第2回ワークショップを開催し106枚の調査した下図を1枚の大きさに仕立てました。

マップの情報としては、自転車店、公共トイレ、コンビニ、雨宿りスポット、交番、主な公共施設を配置し、自転車走行に適した道路や注意が必要な道路情報を掲載しました。

当該マップはバスマップの「のりのりマップ」と兄弟関係にあたります。ROBAが唱えている「ホ・ジ・ロ・バによるまちづくり」の意識を市民に伝え、車中心の生活から少しでも「ホジロバ」の生活へとスタイルを変えるきっかけとなることを願っています。

なお、「りんりんマップ」作成は福井市との協力事業で、福井市に3000部納入しています。

報告 / 内田

「福井鉄道福武線再生」ROBA調査隊 報告

080413

参加者 / 清水・大西・林博・高橋・岸本・田山・鳥居・佐藤・内田

福武線再生のプランを考えるにあたり、もう一度現場を見てみよう、と、会員9人がROBA調査隊に参加しました。当日は、田原町をスタートとして、駅へのアクセス、駅周辺の環境、駅の新設や駅の移設の可能性について議論しながら、約10キロを歩きました。（1ページの写真参照）

後日、調査の報告書を作成いたします。参加者のみなさん大変お疲れ様でした。

報告 / 内田

■平成 20 年 3 月 30 日（日）に京都市右京ふれあい文化会館において開催されました。

このフォーラム自体は左京区が NPO に対して助成した成果を発表する会です。特徴的なのはこの助成団体を定める会の座長に都市交通の学識者である土井勉氏が就任されていることである。もっと、平たく言えば、ROBA が市から助成をいただいてその成果を発表する会に参加したのと同じである。このフォーラムでは 5 団体が 20 万円から 40 万円いただいてその成果を発表している。

内容は林業促進、お城の調査、映画塾等およそ交通とは縁のない団体の活動発表です。その活動発表を終えるとすぐ、土井先生の「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクトー南太秦学区からの報告ーがありました。

MM（モビリティマネジメント）を聞かせたい、知らせたいという意図がありありです。発表する団体は必ず参加する、発表が終わってから休憩をとらないので、席を立つタイミングがとれない…必然と土井先生の MM の話を聞くことになる。実際、このあと休憩を挟んで、RACDA 岡会長、和歌山の交通まちづくりの会の志場氏を含む 6 名のパネリストと東工大の藤井教授（MM の先駆者）のコーディネーターで行なわれたパネルディスカッションに入ると、ガクンと聴衆が減ってきました。仕方ありません。でも、土井先生の話は何とか聞かせることができたことは作戦勝ちかなと思いました。この太秦学区は京都中心部から車で 10 分かつからない距離にあるにもかかわらず公共交通の空白地区だったのです。そして今年になって初めて学区内にバスルートが通ることから、このようなフォーラムを開催したとのこと。

実は、松原さん（会員）の自宅がフォーラム会場から徒歩数分のところにあるようで。会場と一緒に参加しました。

公共交通の空白学区とはいっても、300m 行けば、幹線的なバスルートが通っています。決して交通不便地域ではないが、学区内に公共交通のルートがないだけなのですが、「おらが学区」に公共交通のルートができると、皆の意識が大きく変わることがいえる気がした。

今回のまちづくり円卓会議でワークショップを開催して、学区を縦断するように「バス」ルートが決定。南太秦おでかけマップのアンケートを見ると、興味深いが約 7 割、クルマを控えてバス・鉄道を利用した方がいいと思いますか？が約 9 割と MM の成果が出てきてますね。

このバスを利用することで、桂駅まで約 18 分、太秦天神川駅まで約 7 分で幹線鉄道駅までいけるという便利さ。ここでもバスマップがまちづくりを助けています。シンポジウムは、このマップをどう使うか、どう活用するかをご当地、神戸、和歌山、岡山の各市からそれぞれ発表がなされた。いずれも、市民の目、利用者の目から作られており、大変参考になりました。



RACDA 岡会長の説明



会場の看板

公共交通に乗ってWiiを当てよう！ キャンペーン 始まる
主催 連合福井鯖丹地域協議会

公共交通利用期間

平成 20 年 4 月 1 日（火）～6 月 30 日（月）

応募期間

平成 20 年 4 月 1 日（火）～ 7 月 15 日（火）* 当日消印有効

応募方法

「応募用紙」に記載された参加公共交通機関（電車・バス）を利用した際に得られるポイント（スタンプ）を集め、いっぱいになった時点で郵送で応募。

応募用紙は電車・バス内にあります。

【参加公共交通機関】

< 電車 > 福井鉄道

< バス > 福鉄バス・全路線（嶺北） 京福バス・全路線
さばえつつじバス（コミュニティバス）全路線

参加景品

Nintendo Wii が毎月 1 台、抽選で当たります！

その他、抽選ではずれた方の中から数名の方に、
地域の名産品がもらえる「ありがとう賞」を用意しています。

毎月 1 回、連合福井鯖丹地域協議会のブログで発表。

<http://blog.goo.ne.jp/seitantikyou2006>



いよいよ毎日バスに乗っている変集長が報われる日がやってきました。狙っているのは「ありがとう賞」。左の写真のように、すぐスタンプがいっぱいになりますので、毎日がウキウキ気分。もし、Wii が当たりましたら、いつもお世話になっている美濃部さんのご子息にプレゼントしましょう！（いらないかな？）

作 / 漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「先日三重県のバス車内。携帯電話を注意したら暴行を受け男性死亡。誰も止めなかったらしい。むずかしいと思うが、私は止めに入りたい」

塚谷(副編集長)

「J2 から昇格したばかりのチームが絶好調！」

内田(発行責任者)

「えち鉄アテンダントが全国放送のTVで紹介されていましたね」

事務局

特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>